

災害時の 心理社会的支援活動の因数分解

— 活動分類と実災害における支援の実例 —

近年「災害時の心のケア」の必要性は認知されつつありますが、いつ、どこで、だれが、どのように行う支援活動かについてはイメージを持ちづらいかもかもしれません。本シンポジウムでは、4人の登壇者とともに支援機関間の合意に基づく国際的なマニュアルの紹介と、実災害での事例をもとに心のケアを11の活動要素に「因数分解」することで、心のケア活動について理解を深めていくことを主なねらいとします。災害支援に関心のある方ならどなたでも、無料でご参加いただけます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

2023年12月23日(土) 17:00-19:30

◆座長：鈴木正貴（宮城県東部教育事務所）

◆登壇者：

森光玲雄（日本赤十字看護大学附属災害救護研究所）

「緊急時の心理社会的支援に関するIASC活動分類の紹介」

赤坂美幸（セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）

「トルコ・シリア大地震における子ども支援活動」

中井茉莉（日本赤十字看護大学附属災害救護研究所）

「コロナ下での医療機関における支援者支援活動の特徴」

池田美樹（桜美林大学）

「実災害における心理社会的支援活動～熊本地震、令和元年
台風災害での活動分類～」

◆パネルディスカッションおよび質疑応答

○開催方法：桜美林大学バーチャル講堂内でのWeb配信（Zoom）

○参加費：無料

○参加方法：参加登録者には桜美林大学バーチャル講堂内へのアクセスURLとPWがメール送付されます。当日はログイン後、画面上の「Main Hall」会場よりシンポジウム（Zoomによるオンライン配信）にご入室下さい。

○問い合わせ先：jrcdri-jimu@redcross.ac.jp

○共同開催：

桜美林大学ポジティブ心理学実践研究所

日本赤十字看護大学附属災害救護研究所

○開催協力：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

参加登録はこちらから



申込期限：12月22日(金) 正午12:00